

## 岐阜県立羽島北高等学校

学 校 長 林 靖

学校所在地 岐阜市柳津町北塚3-1-10 電話 058-388-3611

1 会議の名称 岐阜県立羽島北高等学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 学校評議員

青木 秀益 柳津青少年育成会議委員  
市野 和之 カラフルタウン岐阜 プレジデント  
近藤 芳子 柳津佐波女性の会  
藤井 忍 P T A会長  
三輪 浩子 羽島北高等学校同窓会

(委員名は五十音順)

学校側

林 靖 校長  
西村 美穂 教頭  
竹花 容子 事務長  
村上 宏俊 教務主任  
福島佳代子 進路指導部長  
前田 輝美 生徒指導部長  
郡 美穂 特別活動部長  
竹尾 真希 研究推進部長

3 会議の目的 学校運営について地域住民や有識者等から幅広く要望や意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。  
(岐阜県立羽島北高等学校学校評議員設置要綱第1条)

4 会議の開催 令和2年6月9日(火)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料を送付し、個別に意見の聴き取りを実施した。

5 会議の概要 (1) 協議 本校の「ふるさと教育」について  
(2) 協議 本校の教育活動全般について

(1) 本校の「ふるさと教育」について

学校：羽島北高校では、昨年度より、将来地域を支え地域に貢献できる人材の育成をねらいとして、「ふるさと教育」を展開してきた。今年度の取組に対するご意見をいただきたい。

○「ふるさと教育」の地域課題探究型学習（HK Tマイプロジェクト）について

意見1 現在岐阜市の行政においても「シビックプライド」を醸成することが重要視されているが、生徒に「シビックプライド」を醸成するという視点は、将来的に自分が関わって地域の活性化を進めるという意識や能力を高めるところが狙いの地域課題探究型学習において、極めて重要な視点であると思われる。

意見2 今後、具体的な活動を展開するにあたり、現在行政機関等でどのような取り組みがなされているのかといった参考例を紹介することや、関係機関等へのつなぎを行うことといった協力が可能である。

意見3 生徒自らが地域の課題に対し自ら解決策を考え答えを出すことで、課題解決力が身に付き、地域の活性化にもつながるとするのはとても良い学習である。

意見4 保護者としてサポートできることをしていきたい。

意見5 地域課題探究型学習の取組について地域への発信をしていくとよい。

意見6 現在カラフルタウンでは、岐阜市スマートシティ構想の下、地域の交通弱者を想定したライドシェアの実証実験を構想している。スマホを活用し、大学・病院といった諸機関と連携して行うものである。企業が取り組んでいるこういった例は、生徒の発想を刺激するのではないか。

意見7 昨年度広く行われた生徒のフィールドワーク（地域の諸機関への訪問取材）について、現在、コロナ禍で中断している状況だと思うが、取材を受けた側として、是非フィードバックをお願いしたい。

意見8 生徒目線での地域の課題を聞いてみたい。

○「ふるさと教育」の地域ボランティア（HK Tゆいまーるプロジェクト）について

意見1：新型コロナウイルス感染症のため、実際に地域に出向いての活動は困難な部分がある。オンライン、SNS等を活用しての活動を検討してはどうか。たとえば、老人介護施設へ行く場合、2週間前からの体調などの詳細な報告が必要となるため、現実的にかなり難しいのではないか。

意見2：今だからこそ、柳津地区のよい所を動画配信し、いつか行きたい、一度住んでみたい町、そんな町の中で活動している高校を紹介し、地域の活性化につなげることができるのではないか。

意見3：HK Tゆいまーるプロジェクトの取組は素晴らしい。もっと地域へのPR・情報発信をしていくとよい。

## (2) 羽島北高校の教育活動全般について

意見1：単位制高校になってから、中学生からの評価が上がってきているように感じる。学びたいことを自主的に選択でき、個性を伸ばすことができるカリキュラムは大きな魅力である。

意見2：「普通科」高校ではなく、「個性科」高校という、どこにもない高校を目指すことができるというのではないかと。〇〇科に捉われない高校であってほしい。

意見3：先生方が、子ども一人一人の学力向上に対し、授業内容を考え熱心に教育指導をしていただいていることに感謝している。

意見4：キャリア教育の充実を重点テーマに位置付けている点が素晴らしい。最近、社会人として会社組織に適応できないケースが増えている。生徒の社会的自立に向けて特にこれからは必要不可欠な取り組みと思われる。

意見5：インターンシップ、職場体験などの受け入れも可能なので、相談してほしい。

意見6：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、先生方も大変苦勞していることと思う。オンラインでの生徒とのコミュニケーションやカリキュラムなど取り組み状況を聞かせてほしい。

学校より 休校中は特別時間割でオンライン配信授業を行った。オンライン視聴の環境がない生徒にはDVDに録画して郵送した。課題の郵送や、e-Learningの活用など、これまで実施したことのないことを手探りで展開した。

意見7：主体性を育み伸ばす教育をお願いしたい。

## 6 会議のまとめ

第一回学校評議員会では、まず、羽島北高校の「ふるさと教育」の今後の取組と展開についてご意見をいただいた。

活動を通して生徒自身にシビックプライドを醸成することが重要だというご指摘、「いつか住みたい町で活動する高校」という視点で生徒の活動を紹介していくことが地域の活性化に繋がるとのご指摘には、「ふるさと教育」の今後の方向性を一つ見出すことができたと思う。また、新型コロナウイルスの関係で、とりわけ難しくなっている「ふるさと教育」の活動についても、オンラインやSNSなどのツールを用いて展開する方法を考えていきたい。

その他教育活動全般に対しては、単位制となった本校の在り方が、地域で評価されていることを知ることができた。また、本校に、他校にないこれからの教育を期待する声も聴かれた。

評議員の皆さまの言葉には本校を支援する強い思いを感じることができた。

今回、ご指摘ご助言いただいたことをもとに、取組内容を精査しつつ一層充実した教育活動を展開していきたい。